

第9章 管理運営・財務

2) 財務

2) 財務

1. 現状の説明

(1) 教育研究を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか。

【評価の視点】

- ・中・長期的な財政計画の立案
- ・科学研究費補助金、受託研究費等の外部資金の受け入れ状況
- ・消費収支計算書関係比率および貸借対照表関係比率の適切性

1) 中・長期的な財務計画は、毎年10月に経理単位毎に「10年間の収支見通し」を策定し、理事会において審議している。今後10年間の収支状況を資金収支・消費収支の面から見通すもので、長期的な収支の動向や大きな設備投資計画等を把握することにより、法人の中・長期的な課題や今後の資金繰りなどが検討されている。

2) 科学研究費助成事業の採択状況を経年比較すると、採択件数・金額ともに増加傾向にある。また国・企業等との研究契約に基づく受託研究等については、2011(平成23)年度から2012(平成24)年度にかけて実施された筑波大学との受託研究(年間約1億円)の影響により一時的に増加した分を除いて、件数・金額ともに一定水準を確保している。外部資金の獲得状況は概ね良好であると言える。

(資料9-2-1 平成23年度科学研究費助成事業交付決定一覧)

(資料9-2-2 平成24年度科学研究費助成事業交付決定一覧)

(資料9-2-3 平成25年度科学研究費助成事業交付決定一覧)

(資料9-2-4 共同研究・受託研究受入実績)

科学研究費助成事業の採択状況 (千円)

| 年度 | 採択件数 | 直接経費 | 間接経費 | 合計 |
|--------|------|---------|---------|---------|
| 平成23年度 | 285件 | 511,010 | 151,263 | 662,273 |
| 平成24年度 | 331件 | 619,000 | 185,070 | 804,070 |
| 平成25年度 | 386件 | 654,700 | 192,330 | 847,030 |

受託研究費等の受け入れ状況 (千円)

| 年度 | 受託研究 | | 共同研究 | |
|--------|------|---------|------|---------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 平成23年度 | 151件 | 367,125 | 32件 | 108,476 |
| 平成24年度 | 128件 | 375,687 | 26件 | 112,813 |
| 平成25年度 | 147件 | 228,743 | 23件 | 110,947 |

3) 私学事業団のデータベース(2012(平成24)年度決算値)から抽出した他大学(医歯他複数学部)の財務関係比率(平均値)と比較すると、本学の比率は概ね上回っている。特に収益性を表す消費収支比率は高水準を維持しており、財務状況は良好であると言える。

(資料9-2-5 順天堂大学 平成24年度学生数)

(資料9-2-6 学校法人順天堂 平成24年度消費収支計算書)

(資料9-2-7 学校法人順天堂 平成24年度貸借対照表)

(資料9-2-8 学校法人順天堂 平成24年度基本金明細表)

第9章 管理運営・財務 2) 財務

(資料9-2-9 平成24年度消費収支計算書-大学法人- P.126)

(資料9-2-10 平成24年度貸借対照表-大学法人- P.104~P.105)

| 消費収支計算書関係比率 | 本学 | 医歯他複数学部 | [ご参考] 全大学法人 |
|-------------|--------|----------|-------------|
| 該当法人数 | 1 | 30 | 539 |
| 学生数 | 3,791人 | 382,849人 | 2,886,558人 |
| 人件費比率 | 35.1% | 44.9% | 49.5% |
| 教育研究経費比率 | 47.8% | 42.6% | 36.1% |
| 消費支出比率 | 86.1% | 93.6% | 94.8% |
| 消費収支比率 | 93.9% | 101.4% | 105.2% |

| 貸借対照表関係比率 | 本学 | 医歯他複数学部 | [ご参考] 全大学法人 |
|------------|--------|---------|-------------|
| 自己資金構成比率 | 81.7% | 80.9% | 85.3% |
| 流動比率 | 632.7% | 258.0% | 242.8% |
| 総負債比率 | 18.3% | 19.1% | 14.7% |
| 消費収支差額構成比率 | △20.8% | △26.5% | △15.4% |
| 負債比率 | 22.3% | 23.7% | 17.2% |
| 退職給与引当預金率 | 27.6% | 48.9% | 57.4% |
| 基本金比率 | 99.1% | 96.7% | 96.9% |

(2) 予算編成および予算執行は適切に行っているか。

【評価の視点】

- ・ 予算編成の適切性と執行ルールの明確性、決算の内部監査
- ・ 予算執行に伴う効果を分析・検証する仕組みの確立

- 1) 予算編成は、10月の理事会で定める「10年間の収支見通し」、「予算編成方針」を基本方針として行う。予算申請単位は経理単位毎としており、各経理単位において執行部署から申請された予算を各経理単位の会計課・総務課で取りまとめ、各学部長や病院長・事務(部)長が収支状況や設備投資計画、特殊要因などを検討して経理単位毎の予算案を作成する。この予算案の申請を受け、法人財務部では予算計上の妥当性や法人の運営方針に沿っているかなどを精査のうえ、法人全体の収支を勘案して予算案を作成する。作成された予算案は評議員会、理事会で審議され決定される。以上のとおり、申請された予算について3段階の検討を経ることで予算編成の適切性を確保している。
- 2) 予算執行にあたっては予算実行権限内規が定められ、支出の種類・金額に応じて最終決定権限者は各経理単位の事務(部)長から理事会まで規定されており、この最終権限者の承認の下執行されるため、執行ルールは明確である。
(資料9-2-11 学校法人順天堂 予算実行権限内規)
(資料9-2-12 学校法人順天堂 予算実行権限内規 別表)
- 3) 大型医療機器等の購入に際しては、経済的効果を検討したうえで可否を決定するなど費用対

効果を分析しつつ進めており、決算等において検証を行っている。また、予算部門ごとに執行状況の検証を行っている。

- 4) 財産状況、業務状況等に関する監査を定期的実施している。本学は首都圏を中心に4つの学部、6つの附属病院を有しており、そのうち例年2つの拠点を監査対象地区として監事が出向いて監査を行っている。会計帳簿の監査をはじめ、管理状況等に関する地区幹部へのヒアリング、意見交換のほか、労務管理、医療安全管理等、毎年テーマを決めて実態の把握、問題点の抽出・指導など具体的・実効的な監査を実施している。また、理事会・評議員会に出席し、利益相反の防止や調達過程の健全性維持等に関する各種報告書の検討、および役職員との情報交換を行っている。決算時期においては監査法人から状況の報告を受け、意見交換を実施している。

なお、2011(平成23)年度4月より、内部監査の充実を図るため内部監事として2名を発令しており、上述の地区監査への同行や法人全体に関わる事象についての補足説明等、監事の職務実行のサポートを行っている。

(資料9-2-13 監事の職務実行状況(内部監事含む))

2. 点検・評価

[基準9]

大学は、その機能を円滑かつ十分に発揮するために、明文化された規定に基づき適切な管理運営を行わなければならない。また、教育研究を支援しそれを維持・向上させるために、適切な事務組織を設置するとともに、必要かつ十分な財政的基盤を確立し、財務を適切に行わなければならない。

●基準9の充足状況

堅調な帰属収支差額を維持しつつ、有利子負債の返済を前倒しで進め、自己資金の充実を図ってきた。現預金は借入金残高を大幅に上回っており、進行中の再編事業は手元資金で実施する予定であることから、財政的基盤は安定していると言える。

①効果があがっている事項

- 1) 本学は、教育・研究・診療の充実を図るため、以下のとおり大きなプロジェクトを実施してきたが、これに伴い財務内容も大幅な改善を遂げている。

(資料9-2-14 学校法人順天堂 平成25年度財務状況の推移(1))

帰属収支及び消費収支の推移)

- ・2002(平成14)年度 東京江東高齢者医療センター受託運営開始
- ・2004(平成16)年度 医療短期大学を医療看護学部へ改組、浦安病院増床
- ・2005(平成17)年度 練馬病院開院
- ・2006(平成18)年度 静岡病院増床
- ・2007(平成19)年度 大学院医療看護学研究科(修士課程)開設
- ・2010(平成22)年度 保健看護学部開設
- ・2013(平成25)年度 大学院医学研究科(修士課程)開設、順天堂医院新病棟(B棟)竣工

なお、2001(平成13)年度までは負債が自己資金を上回っていたが、2002(平成14)年度に解消。金融機関借入金についても1994(平成6)年度に447億円あったものを、2013(平成25)年度には9億円まで圧縮しており、総負債比率は17.8%となっている。

第9章 管理運営・財務 2) 財務

(資料9-2-15 学校法人順天堂 平成25年度財務状況の推移(2))

資産、負債及び自己資金の推移/金融機関等借入金及び同借入金利息の推移)

また、2006(平成18)年度以降は帰属収支差額のみならず消費収支差額も継続して黒字を維持し、2012(平成24)年度において消費支出が帰属収入を上回る大学が全体の35%に上るという厳しい環境の中、収支状況は極めて良好である。

(資料9-2-16 月報私学 平成26年2月号 P.3)

2) 競争的資金の導入についてはこれを積極的に推進した結果、文部科学省科学研究費で平成25年度に386件(847,030千円)が採択されており、この実績は私立大学の中でも上位に位置している。また、奨学寄付金や受託研究費等は平成25年度で約31億円に上り、研究推進の一助となっている。

(資料9-2-3 平成25年度科学研究費助成事業交付決定一覧)

(資料9-2-17 平成25年度寄附金内訳表(1) 総括表)

(資料9-2-18 平成25年度寄附金内訳表(2) 新入生寄付金)

(資料9-2-19 平成25年度受託研究費収入(1) 課税分)

(資料9-2-20 平成25年度受託研究費収入(2) 非課税分)

3) 格付投資情報センターから、2014(平成26)年1月に、AAの評価をもって格付けが維持された。(資料9-2-21 格付投資情報センター NEWS RELEASE)

3. 将来に向けた発展方策

①効果があがっている事項

- 1) 今後も帰属収支差額(2015(平成27)年度に行われる学校法人会計基準の変更以後は、基本金組入前当年度収支差額)を指標として、好調な収支状況を維持する。
- 2) 競争的資金の導入についても、URA等の充実、活用により、更に積極的に推進する。
- 3) 格付けに関しては、評価の更なる向上を図るべく財務内容の充実に努める。

4. 根拠資料

- 資料9-2-1 平成23年度科学研究費助成事業交付決定一覧
- 資料9-2-2 平成24年度科学研究費助成事業交付決定一覧
- 資料9-2-3 平成25年度科学研究費助成事業交付決定一覧
- 資料9-2-4 共同研究・受託研究受入実績
- 資料9-2-5 順天堂大学 平成24年度学生数
- 資料9-2-6 学校法人順天堂 平成24年度消費収支計算書
- 資料9-2-7 学校法人順天堂 平成24年度貸借対照表
- 資料9-2-8 学校法人順天堂 平成24年度基本金明細表
- 資料9-2-9 平成24年度消費収支計算書-大学法人- P.126
- 資料9-2-10 平成24年度貸借対照表-大学法人- P.104~P.105
- 資料9-2-11 学校法人順天堂 予算実行権限内規
- 資料9-2-12 学校法人順天堂 予算実行権限内規 別表
- 資料9-2-13 監事の職務実行状況（内部監事含む）
- 資料9-2-14 学校法人順天堂 平成25年度財務状況の推移（1）
帰属収支及び消費収支の推移
- 資料9-2-15 学校法人順天堂 平成25年度財務状況の推移（2）
資産、負債及び自己資金の推移／金融機関等借入金及び同借入金利息の推移
- 資料9-2-16 月報私学 平成26年2月号 P.3
- 資料9-2-17 平成25年度寄附金内訳表（1）総括表
- 資料9-2-18 平成25年度寄附金内訳表（2）新入生寄付金
- 資料9-2-19 平成25年度受託研究費収入（1）課税分
- 資料9-2-20 平成25年度受託研究費収入（2）非課税分
- 資料9-2-21 格付投資情報センター NEWS RELEASE